

岐阜県大野町の森づくり～green グリーン⇔blue ブルー大作戦～
～見える化はゆっくりだけど 次の未来へのつながりをつなげていこう!～

2023年5月、「セントレアとの揖斐川流域岐阜県大野町での森づくり」
のその後は??どうなった??

山と海。お互いがお互いを思いやる「green グリーン⇔blue ブルー」。

2024年6月11日(火)、この日もとても良いお天気に恵まれたサイコーの成長確認日和。
セントレアの伊藤さん(120%晴れ男)と、背後の山々は美しく野菜も果物も川魚もバラも美しい大野町の道路を大野町役場さんの運転で、皆さんといっしょに行った森づくりの場所へ行ってきました。昨年の豪雨に見舞われた道の所々は陥没修復を終えていましたが、金尾滝下付近では土はえぐれ、まだまだ整備段階となっていた山でしたが、あれから一年。植えた苗木は、里山会の皆さんのお陰で、「うわぁ!!すごい。すごいね!」と思わず声が出たぐらい驚きの成長を遂げていました。また皆さんがいつかこの場所を訪れることを想定し登りやすいように間伐材で遊歩道を作って頂き、感動。里山会のメンバーによる日々の手入れが行き届き、張ったネットからは、モサモサと葉が生い茂り、「こ、このネット、ちょっと窮屈。まだ取れない??邪魔なんですけど・・・。」と苗木から声が聞こえそうな感じです。里山会さんに「いつ頃になれば、このネットは外れますか?」と伺いましたら、「まだ2.3年はこのままですよ。」と。苗木たちよ!もう少し、がんばろう。

降り注ぐ太陽光線は辛いけど穏やかな風が吹き、苗の足元には豊かな水、里山会の愛情を十分受け育つ苗木は、とても丈夫そうです。こうして、手入れのために山に入っていたことにより、敏感な野生動物は、「ここは危険。ひとが来ている。」と察知していて、獣害は最小限にされていましたが、ただ「野うさぎ」だけが、苗木を土から掘り起こして、ぼいっと放置するいたずらを20本程度していたそうで、水分が必要な根は乾ききり瀕死の状態となってしまう、助けられなかったと悔やまれていたそうですが、偶然にも代替えの苗木を提供頂く機会があったとのことで、同じ個所に植えて頂きました。ほんとうにありがとうございます。やっぱり嬉しいのは、みんなでいっしょに植えた苗木が、里山会の皆さん地域の方々に支えられ、見守られ、これだけの愛情を持って大きく成長していたのです。ほかに嬉しいな、と感じたことは、約150名のフレンズたちが、青空のしたで土に触れ、自然に囲まれながら、暑さにも負けず、性別も年齢も関係なくみんなと交流して力を合わせて、いっしょに助け合って苗木を植える、こんな活動は本当にうれしい。めったにない機会だからこそ、うれしいと感じたことだったかもしれない。でも振り返ってみると、1年前のフレンズ集合写真はみんないい顔して楽しそう。何気ないことがやっぱりうれしい。元気に育って、大きくなって、豊かな海づくりにつながる森づくりへのみんなの思いをプラスして植えた苗木だからこそ、大きくも成長をしているように思う。

伊勢湾フォーラム事務局柳田幸子

10年後。もっとも大きく成長し、木陰が出来たその樹の下で、いっしょに森づくりをしたメンバーとお弁当を広げて、10年前のことを思い出してお話してみたい。しかし、登れる?のだろうか。いささか不安であるけれど。。タイムカプセルを開けるような気持ちで未来日を決めてみたい。

次の世代の楽しみとして森が豊かになるバトンが続きますように。。

森は海の恋人です。豊かな森と、豊かな海。

「～美しく豊かな伊勢湾と活力ある「みなとまち」の実現をめざして～

これからも「豊かな伊勢湾の海を未来につなげていく活動」を行っていききたいと思います。

【とっておき写真集】



●看板がよく見える、下から全体を見上げて ●記念植樹は大きく成長。皆の先は明るい ●大きく成長し、整列されている。



●左は野うさぎのいたずらと植えられた新しい苗木 ●枯れても根からの新芽を発見 ●モサモサと生い茂り、ネットより飛び出し



●とても窮屈そうなネットの中。まだ我慢。 ●いっしょに訪れた、大野町職員さんと里山会さん、セントレア伊藤さんとIFわたし